

岡山県からのお知らせ

「県道加茂・奥津線」交通規制の解除と今後の対応について

5月10日(水)より通行禁止となっておりました「県道加茂・奥津線」の岩屋・越畑地区の2ヶ所につきまして、6月19日(月)正午より片側通行が可能となっております。ただし、雨の降る量により下記のとおり「通行禁止」及び「解除」を実施いたします。

つきましては、通行禁止とする場合は、「通行禁止」看板を設置しますので、皆様方には大変ご迷惑をおかけしますが、安全第一でありますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

区 分	雨 の 量 (下記のどちらかに雨の量が達した時で、岡山県が必要と判断したとき)
通行禁止	○1時間あたりの雨の量が35mmを超えた時 ○降り始めからの雨の量が80mmを超えた時
解 除	○連続2時間雨が降らない時

○この件に関するお問い合わせ先

【平日の午前8時30分～

午後5時15分】

美作県民局 維持補修課

0868-23-1447

美作県民局 工務第三課

0868-23-1492

【夜間及び土・日・祝祭日】

鏡野町役場

0868-54-2111



シニアスクール校外学習

～ふるさとが誇りに思える充実のフィールドワーク～



満々の水量をたたえる奥津湖に浮かぶ島、“浮島”というネーミングはなんと雅なことか…。湖畔を車で走るたびにそんな感傷にひたっていたのに、なんとここは南北朝時代の山城だったのです。

6月2日、シニアスクール生10名は、生涯学習課日下芸員の指導のもと、ここ「城塔城(しろごこじょう)」に立ちました。この山城は東に津山への街道を見下ろし、西は眼下に吉井川の水運をにらみずえることができる絶好の地の利を持つところ。切岸、堀切、曲輪(くるわ)もはっきりと分かり、当時の民衆が自分たちの生活の安全を守るために、一鉄一鉄築き上げた力強いドラマがほうふつとされます。

“みずの郷奥津湖”に移転されている町重要文化財「回転六体地藏」に感動しながら、めいめいが地藏様を回転させ、西屋城落城にまつわる悲しい伝説に、郷土の歴史の奥深さをかみしめました。

続いて箱岩、与謝野鉄幹・晶子の歌の小径、甌穴(おうけつ)と見学しましたが、圧巻は「奥津資料館」。ダム建設を機に、古代から中央とも交流があったことがわかる貴重な資料、たとえば水晶の矢じり、勾玉など古代ロマンにあふれるスペースは、奥津地区の歴史の発祥が、これまで語られていたより何百年もさかのぼることを物語っています。

これらの貴重な文化遺産を郷土の誇りとして、周知できるよう手だて(標識・説明板)ができると、郷土への誇りと愛着がわき、歴史愛好家をはじめ、多くの人々が鏡野町に興味を持って足を運んでくれるのではないかと話し合いました。



シニアスクールでは、今年も火・金曜日の午前中に国語、社会、音楽、体育などの授業に取り組んでいます。興味・関心のある方はいつでも見学や参観をしてください。

お問い合わせ 鏡野町役場生涯学習課
☎0868-54-7733 まで

平成17年度 中山間地域等 直接支払制度の実施状況

中山間地域等直接支払制度は、高齢化が進む中山間地域における農地の耕作放棄の防止など、将来に向けて農業生産活動等を継続する前向きな取り組みを行うことを目的として、耕作者全員の同意による集落協定を結ぶことにより交付金が交付される制度ですが、平成17年度分についてその実施状況を公表します。

項 目	内 容
集落協定の概要	対象となる農地は、鏡野町の中山間地域等直接支払基本方針に基づき、農振農用地区域内の一団の急傾斜地(傾斜率1/20m以上の田)及び緩傾斜地(傾斜率1/100m以上1/20m未満の田)。将来に向けた集落マスタープランを作成し、適切な農用地管理及び関連する水路、農道等の適正管理を実施する。助成金の2分の1は、集落の共同取組活動に使用する。
実 施 地 域	鏡野地域 (協定面積 90.1ha・助成金交付額 15,723,154円) 奥津地域 (協定面積 236.2ha・助成金交付額 28,481,264円) 上齋原地域 (協定面積 94.8ha・助成金交付額 9,762,333円) 富地域 (協定面積 83.3ha・助成金交付額 9,716,955円)

お問い合わせ 鏡野町役場産業課 ☎0868-54-2987